

授業科目名	子ども家庭福祉	担当教員名	上村 康子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の本質・目的の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 前期 (1-2期) / 年間開講数 2講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	少子・高齢化が進む中で、子ども（こども）や子育て家庭を取り巻く状況の変化とともに、本来は子どもが育っていく基盤ともいべき家庭において課題を抱えるケースも増え、子ども家庭福祉の推進が重要となっている。そこで、子ども家庭福祉の変遷や意義、制度、実施体系等とともに、子どもの人権擁護について学習し、理解する。学んだことを踏まえてアクティブラーニングを取り入れ、事例等をグループで討議・検討・発表して学び合い、理解を深める。		
到達目標	(1)現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。 ①子ども家庭福祉の理念と概念について理解している。 ②子ども家庭福祉の歴史の変遷について理解している。 ③現代社会における子ども家庭福祉の意義・役割について理解している。 (2)子どもの人権擁護について理解する。 ①子どもの人権擁護の歴史の変遷について理解している。 ②「児童の権利に関する条約」について理解している。 ③子どもの人権擁護と現代社会における課題について理解している。 (3)子ども家庭福祉の制度や実施体系について理解する。 ①子ども家庭福祉の制度と法体系について理解している。 ②子ども家庭福祉の制度と実施体系について理解している。 ③児童福祉施設について理解している。 ④子ども家庭福祉の専門職について理解している。 (4)子ども家庭福祉の現状と課題について理解する。 ①少子化と地域子育て支援について理解している。 ②母子保健と子どもの健全育成について理解している。 ③多様な保育ニーズへの対応について理解している。 ④子ども虐待、DV（ドメスティックバイオレンス）とその防止について理解している。 ⑤社会的養護について理解している。 ⑥障がいのある子どもへの対応について理解している。 ⑦少年非行等への対応について理解している。 ⑧貧困家庭および外国籍の子どもとその家庭への対応について理解している。 (5)子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。 ①次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進について理解している。 ②地域における連携、協働とネットワークについて理解している。 ③諸外国の動向について理解している。		
テキスト	使用しない		
参考書・ 参考資料等	①「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社） ②『子ども家庭福祉 第2版』新保幸男・小林理編（中央法規出版）、2023 ③『子ども家庭福祉 改定1版』（全国社会福祉協議会）、2022 資料：授業時に担当教員作成のプリントを配布。毎回、そのプリントに基づき授業を進める。		
成績評価の方法	①平常点（受講態度等）：10% ②課題（課題への取り組み及び成果物、プレゼンテーション力）：50% ③コメントシート（毎回提出、内容等）：20%④理解度・到達度チェック（筆記形式）：20%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示する。事後学習については毎回、コメントシートを提出。オフィスアワー：質問事項を質問シートに記載し、学務室経由で提出。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	「子ども家庭福祉の理念と概念 -子ども・家庭・福祉とは- 子ども・家庭・福祉をどのようにとらえるか考える。	(1)-①	
第2回	「子ども家庭福祉の理念と概念 -子ども家庭福祉の歴史の変遷と子育て家庭を取り巻く状況- 子ども家庭福祉の歴史の変遷と子育て家庭を取り巻く状況についての学習を踏まえて、子ども家庭福祉の意義と役割について考える。	(1)-②,(1)-③	
第3回	「子どもの人権擁護 -「児童の権利に関する条約」-」子どもの人権擁護の歴史の変遷と「児童の権利に関する条約」についての学習を踏まえて、子どもの人権擁護について理解を深め、課題について考える。	(2)-①,(2)-②,(2)-③	
第4回	「子ども家庭福祉の制度と実施体系 -子ども家庭福祉の法と実施体系-」子ども家庭福祉の制度と法体系および実施体系について学習し、把握する。	(3)-①,(3)-②	
第5回	「子ども家庭福祉の制度と実施体系 -子ども家庭福祉の施設と専門職-」児童福祉施設について学習するとともに、子ども家庭福祉に関わる専門職について把握し、理解を深める。 ○理解度・到達度チェック（筆記形式）	(3)-③,(3)-④	
第6回	「子ども家庭福祉の現状と課題 -少子化と地域子育て支援-」少子化傾向が止まらない状況について概観したうえで、地域子育て支援の必要性について理解する。	(4)-①	
第7回	「子ども家庭福祉の現状と課題 -母子保健と子どもの健全育成-」母子保健と子どもの健全育成について学習し、理解を深める。	(4)-②	
第8回	「子ども家庭福祉の現状と課題 -多様な保育ニーズへの対応-」子育て家庭が抱える多様な保育ニーズへの対応について考え、理解する。	(4)-③	
第9回	「子ども家庭福祉の現状と課題 -子ども虐待、DV（ドメスティックバイオレンス）とその防止-」増加傾向にある子ども虐待と、DVについて学習し、その防止について考える。	(4)-④	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第10回	「子ども家庭福祉の現状と課題 ―社会的養護―」 社会的養護について学習し、その課題について考える。	(4)-⑤
第11回	「子ども家庭福祉の現状と課題 ―障がいのある子どもへの対応―」 障がいについて学習し、障がいのある子どもへの対応について考え、理解を深める。	(4)-⑥
第12回	「子ども家庭福祉の現状と課題 ―少年非行等への対応―」 少年非行等の現状とその対応について学習し、その課題について考える。	(4)-⑦
第13回	「子ども家庭福祉の現状と課題 ―貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応―」 子どもの貧困と貧困家庭への対応の現状を学習し、課題について考える。	(4)-⑧
第14回	「子ども家庭福祉の動向と展望 ―次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進―」 次世代育成支援施策の変遷の概観を踏まえて、子ども家庭福祉の課題について考える。 ○理解度・到達度チェック（筆記形式）	(5)-①
第15回	「子ども家庭福祉の動向と展望 ―諸外国の動向および地域における連携・協働とネットワーク―」 諸外国における子ども家庭福祉の動向を概観したうえで、子ども家庭福祉の推進を図るために地域における連携・協働とネットワークの重要性について言及し、今後の子ども家庭福祉のあり方について考察する。	(5)-②